

Rong Yellow Road ジャズ伝説 穂吉敏子の94年



穂吉敏子 / Toshiko Akiyoshi

1929 年中国・旧満州遼陽生れ。1946 年大分県に引揚げピアニストに。48 年に上京後、横浜の進駐軍クラブで演奏を始め「ちぐさ」が勉強の場となる。51 年に渡辺貞夫を加え、コーギー・カルテットを結成。1953 年ノーマングランツ来日時に、その卓越したピアノをオスカー・ピーターソンに認められ、グランツの手で初録音を果たしアメリカのジャズ・シーンに紹介され注目を浴びる。56 年日本人初のバークリー音楽院（現 バークリー音楽大学）留学。73 年にトシコ〜タバキン・ビッグ・バンドを結成。数々の名演、名盤を世に残し、人気と地位を獲得していった。74 年発表の『孤軍』、76 年の『インサイツ』などは、モダン・ジャズの金字塔として世界中に評価されている。横浜文化賞を始め、アメリカ国際ジャズ名誉の殿堂入りや、（NEA ジャズマスターズ賞などの栄誉に輝いている。





ルー・タバキン / Lew Tabackin

ペンシルバニア州 1940 年フィラデルフィアの生まれ。1965 年にメイナード・ファーガソン・ビッグ・バンドを振り出しにテナー・サクソとフルートで本格的なプロ活動に入った。1973 年からは秋吉敏子ジャズ・オーケストラのプリンシパル・ソロイストとしてフィーチャーされ、以来 30 年間に及ぶ間、オーケストラの成果に大きく貢献した。フルートは現代最高峰の 1 人であり、

80 年、81 年、83 年には米ジャズ専門誌「ダウンビート」主催の国際ジャズ批評家投票でフルート部門の第 1 位に選出されている。コールマン、ホーキンス、ドン・バイアス、ソニー・ロリンズ、ベン・ウェブスターからインスピレーションを得たテナー・サクソは太く逞しいビッグ・トーン、温かみのあるサウンドと洗練されたテクニックでジャズ・テナーの王道を歩み続けている。2007 年には、「日米協会 90 周年晩餐会」の席で、天皇・皇后両陛下の御前で演奏を披露している。



『孤軍』 (KOGUN) [1974 年作品] ルバング島で発見された小野田少尉を題材にしたタイトル曲の「孤軍」

は大評判となり、その年のジャズ界の話題をさらった彼女の代表作のひとつ。ジャズ専門誌「スイングジャーナル」の第 8 回（1974 年度）のジャズ・ディスク大賞で銀賞受賞。

また、ロング・イエロー・ロード、すみ絵、ミナマタ、ヒロシマ、塩銀杏、花魁、マイ・エレジー等々、日本の伝統をジャズに取り込み作編曲、オリジナル性の高い作品が絶賛されている。